

地域おこし協力隊 活動レポート vol.12

▶問い合わせ 産業政策課 ☎73-3012

大阪・関西万博2025「香川県催事」に三豊市ブースを出展!

4月30日(水)から4日間、大阪・関西万博の会場内で「香川県催事」が開催され、三豊市ブースも出展しました。

展示ブースでは、三豊の伝統工芸である『張子の虎』『讃岐の手まり』『岡本焼』、そして『畳』を紹介。実際に手に取った来場者からは、丁寧な手仕事や鮮やかな色彩に驚きの声が寄せられました。



また、『父母ヶ浜』『紫雲山』『四国八十八ヶ所霊場』など、地域が誇る豊かな自然や文化も写真パネルで紹介し、多くの注目を集めました。

あわせてSNSフォローキャンペーンも実施し、今後の観光誘致につなげるきっかけづくりを行いました。世界中の人と文化が交わる万博の場で、三豊の魅力をしっかり発信できた有意義な時間となりました。

今月の担当は
たけうち なお
竹内 奈央 (観光振興)

三豊の暮らしと私



▲4月27日(日)、普通寺市の地域おこし協力隊主催のマルシェに出店しました

協力隊が執筆中!

▲協力隊 Instagram

▲協力隊 Facebook

地域おこし協力隊 イベント案内

▶問い合わせ ミクスポ(市文化・スポーツ振興事業団) ☎23-7080

三豊市では初開催!!

Global Water Dances

グローバルウォーターダンス in 三豊

グローバルウォーターダンスは、世界の百数十カ所でダンサーたちが同じ日に踊って、水の尊さを表現する国際的なイベントです。ダンスという国際言語を用いて、水問題への行動と国際協力を促しています。

三豊市では、今回が初開催! 地域おこし協力隊の前納さんがプロデュースします。ぜひご覧ください。

日時 6月14日(土) 午後6時15分~7時40分

場所 父母ヶ浜PORT 前



地域おこし協力隊 まえのよりこ 前納 依里子さん

私たちの体は海から飛び出した一粒のしずくで、ダンスはその感覚を私たちに気付かせてくれる芸術です。

当日は、三豊市や周辺地域、東京などから集まった約30人のダンサーたちが、人間と水の境界、地域と世界の境界を越えて表現します。

めざせ男女共同参画社会

6月は「プライド月間」

プライド月間とは、毎年6月に世界各地で、LGBTQ+(性的少数者)の権利を啓発するための活動が行われる期間のことです。市も啓発活動の一環として、市役所前の掲揚台に、LGBTQ+の社会運動を象徴するレインボーフラッグを掲揚します。



▲右端の旗がレインボーフラッグです

この機会に、多様性を尊重し合える社会の実現について考えてみましょう。

6月23日(月)~29日(日)は男女共同参画週間

令和7年度キャッチフレーズ 『誰でも、どこでも、自分らしく』

誰もが、職場や学校、地域や家庭で、性別に関わりなくそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。私たちができることは何か、この機会に考えてみましょう。

全国一斉女性の権利ホットライン

日時 6月23日(月) 午前10時~午後4時

電話相談 ☎087・802・5228

内容 女性に対する暴力や離婚に関する諸問題、職場における差別などの電話相談または面接相談 ※面接相談は、予約が必要です。

▼申し込み・問い合わせ 県弁護士会 ☎087・822・3693

▼問い合わせ 人権課 ☎73・3008

瀬戸内国際芸術祭 2025

Vol.1 瀬戸芸の舞台裏

in 栗島 会期: 10月3日(金)~11月9日(日)

栗島で秋会期に開催される瀬戸芸に向けて、作家や作品情報・準備状況などをご紹介します。

作家紹介 第1弾

かしわぎ しょうご
柏木 崇吾



東京藝術大学 先端芸術表現科修了

地面から掘り起こした天然の粘土に、採取した草木や種子などを練り込んだもので立体作品を制作している。

タオリグ・サリナ
(中国内モンゴル自治区)



東京藝術大学 先端芸術表現科修了

異なる人々がアートを媒介にして、互いに理解し合いコミュニケーションがとれるスペースと共感体験を提供している。

ひびの かつひこ
日比野 克彦



東京藝術大学 学長 栗島芸術家村総合ディレクター

芸術未来研究場を立ち上げ、アートのさらなる可能性を追求し、企業や自治体との連携なども積極的に行う。

募集案内 ※詳細や申し込みは、QRコードでご確認ください。

▶島のボランティア「海ほたる隊」

▶アイデアおにぎりコンテスト